

第1回今後の幼児教育・保育における市立幼稚園のあり方に関する検討会 議事要旨

- 1 日 時 令和4年8月1日(月) 15時30分～17時
- 2 場 所 神戸市総合教育センター701会議室
- 3 出席者 日浦直美会長、小野セレスタ摩耶委員、齋藤優子委員、田辺理恵委員、谷村誠委員、中後和子委員、春木康輔委員、人羅亜矢子委員、渡邊隆信委員
※小野委員、田辺委員はリモート参加
- 4 議 題 (1) 市立幼稚園の現状等について
(2) 今後のあり方検討における視点について

5 議事要旨

今後の幼児教育・保育における市立幼稚園のあり方の検討を進めるにあたり、市立幼稚園の現状や今後の検討における視点について意見をいただいた。

議題(1) 市立幼稚園の現状等について

(主な委員意見)

- ・園児数の減少とともに統廃合も検討しなければならない。公立幼稚園を全て廃園している政令市もあるが、神戸市ではこれまでの実績もあるので、全廃ではなく統合保育や通級指導などの特別支援教育や、周辺の園の保護者や子どもが相談に行けるような機能、また、周辺の園の職員が集まっての研修が区単位で実施できるような機能を持ちながら、各区に1～2園が適正な配置ではないか。
- ・幼児教育のセンター的機能を担うのであれば、ただセンターと言うだけではなく具体的な機能を持たせるべきである。
- ・保護者にとって選択肢はある方がよいので、公立幼稚園を全てなくしていくという方向ではなくてよいと思うが、公費による運営でもあるので、経済面や効率的な部分も考慮すべきだと思う。
- ・園児数が少ない園や2年保育を実施している園でも、3年保育であれば保護者は選択しやすい。3年保育を実施していれば園児数はある程度改善できているのではないか。
- ・通園時も親子の時間を大切にしたい、弁当で家庭の味を覚えてほしいという意見など、公立幼稚園を評価している保護者の声を聞いている。公立幼稚園の良さも再認識しながら、園児数がここまで減少している要因も含めて検討を進めていければと思う。
- ・園児が少数の園でも配慮が必要な児童を受け入れることができているのかなど、園によって受け入れの偏りが気になる場所である。
- ・公立幼稚園では特別な教育的支援が必要な幼児を多く受け入れている状況であるが、公立幼稚園以外の園の状況も把握しながら検討が必要である。

- ・ 3年保育を9園で実施しているが、各区で1園実施しているわけではない。各区に3年保育を求める保護者はいると思うので、今後の検討では各区のニーズも考慮した方がよいのではないかと。

議題（2）今後のあり方検討における視点について

（主な委員意見）

- ・ 子どもの育ちを考えたとき、園児数が寡少な園はかなり厳しいのではないかと。
- ・ 3歳から受け入れる園があるのであれば、障がいのある子どもの保護者はそこに3歳から行かせたいと思うだろうが、2年保育の公立幼稚園を選んでいる子どもの保護者は、どういう理由や経緯で選んでいるのかを、保護者のニーズ、子どもの育ちなどとの関連の中で考えるべきである。
- ・ 家庭の経済的な状況がさまざまな中で、公立幼稚園では無償化になった保育料以外に必要な費用が私立幼稚園に比べて少額であると思うので、その点も検討のポイントかと思う。
- ・ 子ども・子育て会議では幼稚園の認定こども園化を推進してきたが、公立幼稚園がその議論にならないのはなぜかと考える。
- ・ 特別な教育的支援が必要な子どもが3割在籍する園に、自身の子は健常だと思っている親がその子を通わせる気持ちにならず、デメリットになってしまう面も懸念する。
- ・ 各区の要保護児童対応と公立幼稚園との関係が、これまであまり見えていないと感じており、その点が課題であると思う。
- ・ こども家庭庁ができて公立幼稚園は文科省に残るのだろうが、教育委員会は今後もしっかりこども家庭局と連携していただきたい。
- ・ 子ども・子育て支援新制度になって1号認定こどもが減少している。集団保育の中で育ちを支えるのが幼児教育であり、これほど園児数が減少しているのであれば、統廃合を行って集団保育を維持できるようにしていかなければならない。
- ・ 幼児教育の無償化により、長時間預けても無償になったことで、圧倒的に2号認定の子どもが増加している。
- ・ 西北神等の私立幼稚園では経営の成り立たない地域での就園の確保が、公立幼稚園の役割の一つとなってきたところだが、私立幼稚園のバスが走っていないのは淡河好徳幼稚園の周辺ぐらいではないか。また、保育園は自家用車で送り迎えしている状況でもあり、公立幼稚園もそうになっていかざるを得ないと思う。
- ・ 特別な教育的支援が必要な幼児の保護者が公立幼稚園を選ぶ理由としては、小学校との連携が大きいのではないかと。また、実際は一対一で加配が付くのは難しいのかもしれないが、公立幼稚園では加配がつけてもらえ手厚くみてもらえるのではという保護者の思いがあると思う。